

「抗血栓薬服用が外傷患者（65 歳以上）の在院日数を延長させるか？」について

加古川中央市民病院救急科では、抗血栓薬（抗凝固薬、抗血小板薬）を服用している外傷患者と服用していない外傷患者の在院日数（入院期間）については下記の通りの研究を行っています。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究の概要及び利用目的】

外傷患者における抗血栓薬を服用していたことが入院を要する外傷患者の在院日数を延長させるのか、どの程度延長させるのかは明らかでない。

それらを明らかにすることにより、外傷患者への入院治療の向上（続発症予防、早期手術、術後管理、在院日数短縮など）につながる事が期待できるため本研究を実施する。

【登録期間】

研究対象期間：2016年7月1日～2024年07月31日

研究期間：院長承認日～2025年3月31日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2016年7月1日以降に当院救急科が初療し、入院加療となった65歳以上のしゅびょういめい外傷患者の情報を収集します。

<診療情報>

*年齢

*性別

*主病名（主な損傷）

*抗血栓薬を服用していたか否か（抗血栓薬服用あり・なし）

*外来転帰、入院転帰、院外心肺機能停止の有無

※除外：65歳未満、院外心肺機能停止、救急外来死亡、救急外来転送

【個人情報保護の方法】

特定の個人を識別できないように処理し、対応表作成を作成し、対応表はネットワークに接続しないパソコンに保管します。個人情報を外部期間へ提供しません。

研究対象者個人が識別されないように成果報告します。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

本研究は既存情報を用いた観察研究であり、研究対象者に直接の利益、不利益は生じません。

利益：通常診療の情報を用いており、患者個人には特に利益になるようなことはありません。しかし、本研究への参加を通じて、医学の発展や社会全体の医療水準の向上に貢献することになります。

不利益：カルテからのデータのみを利用するため不利益はありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

採取した試料・データ等は少なくとも本研究の終了報告から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、施設可能な場所で適切に保管します。対象者及びその家族等から参加拒否または同意撤回があった場合には、対象患者に関する試料・データはすみやかに廃棄いたします。

【研究成果の公表について】

研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。匿名化対応表は、該当する患者さんが診療を受けた病院の研究責任者や個人情報管理者などが保管・管理します。研究のデータは、他の研究グループと共有する場合があります。その場合、匿名化対応表は提供せず、個人の特定ができない状態で共有します。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

原則として全ての救急科初療の患者さんの情報を登録させていただきます。

ただし、試料・情報の研究利用の拒否および同意の撤回はいつでも可能ですので、下記問い合わせ窓口にご連絡ください。しかし、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は廃棄できない場合がございます。

尚、拒否および同意撤回による不利益は一切生じません。

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 救急科

主任科部長 切田 学

連絡先：079-451-5500